

高校日语专业基础课系列教材

丛书主编：胡振平



新编 日语阅读

第一册

魏丽华 编著



南开大学出版社

新编日语阅读

第一册

魏丽华 编

南开大学出版社

天津

图书在版编目(CIP)数据

新编日语阅读. 第1册 / 魏丽华编. --天津:南开大学出版社, 2004. 12

ISBN 7-310-02117-7

I. 新... II. 魏... III. 日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 045432 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人:肖占鹏

地址:天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码:300071

营销部电话:(022)23508339 23500755

营销部传真:(022)23508542 邮购部电话:(022)23502200

*

河北省迁安市鑫丰印刷有限公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2004 年 12 月第 1 版 2004 年 12 月第 1 次印刷

787×1092 毫米 16 开本 16 印张 400 千字

定价:26.00 元

如遇图书印装质量问题,请与本社营销部联系调换,电话:(022)23507125

总 序

随着时代的发展,要求学生不仅在语言方面要有扎实的基本功,还要有较强的日语实践能力,具备一定的文化知识。为了适应新时代的这一要求,加强对学生素质的培养,我们解放军外国语学院经过多年的教学积累,推出了《高等院校日语专业系列教材》。本套教材编写的依据是《高等院校日语专业教学大纲》,在注意传授基础知识,加强听、说、读、写、译几方面技能的同时,还注意培养学生的日语综合能力,扩大视野、拓宽知识面。

本套教材主要有以下几个特点:

第一、教材体系完整 本套教材涵盖了除精读教材(《现代日本语》已由上海外语教育出版社出版,共六册由胡振平教授主编)以外高等院校的常设课程教材,其中包括《新编日语阅读》、《新编日语听力》、《新编日语会话》、《新编日语翻译》、《现代日语——口语法》、《现代日语——文语法》和《日本文学选读》等共 15 册。按照具体的课程设置要求,教材分别与相应年级的教学内容配套,由浅至深、循序渐进,便于学生逐步吸收教材的内容并完成教材提出的训练要求。

第二、内容侧重点强 本套教材是严格按照教学大纲的要求来编写的,因此每套教材的内容都与相应课程紧密结合,注意从不同侧面培养学生的语言应用能力以及有关的日本语言、文化、文学等方面的知识。

第三、便于教学使用 本套教材对于主干课程教材还配备了教师用书,便于教师在备课时参考和学生自学时使用。

由于教材编写工作量大,质量要求高,因此难免有不足之处,希望日语界同仁不吝赐教,同时也欢迎读者批评、指正。

另外,在这里谨向对这套教材的出版给予大力支持的南开大学出版社表示深深的谢意。

主 编
2004 年

前 言

本书为新编日语专业二年级泛读教材。本教材选用了说明、记叙等各种类型的文章，课文内容涉及日本文化、风俗、社会、语言等各方面，力图通过本教材扩大与加深对日本的了解。

本教材共两册。本册 40 课。适合二年级使用。每课分文章与练习及小知识三部分。每篇文章之前均有一个热身问题，内容与该篇课文息息相关。课文后均附有单词、语法解说。练习部分中的练习一为与文章有关的练习，多为词汇、语法及文章理解练习。练习二为一篇读解练习，以适应四级考试的需要。

需补充说明的是，本教材中部分单词虽有多种解释，但本教材中只列出该单词在课文中的意思。

由于经验不足，时间仓促，书中难免有错误和欠妥之处。恳请各位老师与同学提出宝贵意见。

编 者

2004 年

目 录

第1課	桃太郎	(1)
第2課	桃太郎 (続)	(5)
第3課	お風呂とトイレ	(11)
第4課	「きつねうどん」と「たぬきそば」	(15)
第5課	言葉とその本当の意味	(20)
第6課	言葉の使い方	(24)
第7課	食べ物と体重	(28)
第8課	空気と水の起源	(32)
第9課	ノグチゲラの住む森	(36)
第10課	日本の音楽	(41)
第11課	能と狂言	(46)
第12課	色の感じと暮らし	(51)
第13課	環境と日常生活	(56)
第14課	臓器移植	(61)
第15課	日本の夫のジレンマ	(66)
第16課	食事とお茶時	(71)
第17課	日本人のスギ花粉症	(76)
第18課	じゃんけんを考える	(82)
第19課	血液型による性格判断	(86)
第20課	中国人の黒色幽默 (ブラックユーモア)	(93)
第21課	分相応と分不相応	(100)
第22課	科学者の頭	(106)
第23課	カラオケについて (一)	(112)
第24課	カラオケについて (二)	(117)
第25課	出る杭は伸ばそう	(123)
第26課	日本人って「冷たい」のかなあ	(128)
第27課	緑と青の自然	(134)
第28課	青春漂流	(140)
第29課	外来語と日本文化	(148)
第30課	比喻	(156)
第31課	場面と話し方	(163)

第 32 課	ノーベル賞特集	(169)
第 33 課	最初の失敗であきらめてはいけない	(178)
第 34 課	非行問題	(186)
第 35 課	貝塚が教えるなぞ	(194)
第 36 課	言葉一つで世界が	(201)
第 37 課	日本の映画を見よう	(213)
第 38 課	ペット幻想	(225)
第 39 課	仕事中心主義の弊害と生きがい	(232)
第 40 課	言葉とそれ以外の要素	(240)

第1課 桃太郎

桃太郎は日本で一番有名な昔話です。



むかしむかし、ある所におじいさんとおばあさんがありました。子供がないので二人でさびしく暮らしていました。ある日、おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。

おばあさんは川で洗濯をしていますと、川上から大きな桃が流れてきました。おばあさんはその桃を拾って家へ帰りました。

おじいさんが夕方家へ帰ってから、おばあさんが桃を切ろうとしますと、桃が二つに割れて、中から大きな男の子が生まれました。

おじいさんとおばあさんはたいそう喜んで、その子に桃太郎という名をつけて大事に育てました。桃太郎はだんだん大きくなって、たいそう強くなりました。

ちょうどその頃、鬼が島から時々鬼が来て、人を殺したり、物を盗んだりして、人々は、金持ちも貧乏人も大人も子供もみんな困っていました。

そこで桃太郎は鬼を征伐しようと思って、おじいさんとおばあさんに話しますと、二人はたいそう喜んで、おばあさんはきび団子をこしらえてやりました。

桃太郎がさっそく支度をして、少し行くと、犬が来て、

犬「桃太郎さん、桃太郎さん、あなたはどこへおいでになりますか。」

桃太郎「鬼が島へ征伐に。」

犬「お腰の物は何ですか。」

桃太郎「日本一のきび団子。」

犬「一つください、お供をします。」

桃太郎「そんならやるからついておいで。」

桃太郎が犬をつれて少し行くと、猿と雉が来ました。そしておいしい団子をもらって家来になりました。

鬼たちが桃太郎が来たのを見て驚いて、「あれは桃太郎にちがいない。桃太郎は強いから安心できない。」と言って鉄の門をしめてしまいました。そして大勢集まって出口や入り口を守っています。

桃太郎は、門の中へ入ることができないので、困っていると、雉が飛び込んで中から門を開けましたので、桃太郎と家来は門の中へ入りました。

鬼たちがびっくりしていますと、雉は突っつきまわり、猿は引っかきまわり、犬は噛み付

きまわります。桃太郎は刀を抜いて大きい鬼に向かいました。

鬼たちは、一生懸命戦いましたが、とてもかないませんので、とうとう降参して、大事な宝物を出して、許してくださいと願いました。そして、もうこれからは、けっして悪いことをしないと断りましたので、桃太郎は許してやりました。

おじいさんとおばあさんは桃太郎のるすの間、ずいぶん心配しましたが、桃太郎が珍しいみやげをどっさり車に詰んで、無事に帰ってきたので安心しました。

(長沼直兄著 再訂「標準日本語読本 卷一」による)

単語

柴刈り (しばかり)	【名・自サ】 砍柴, 打柴
大層 (たいそう)	【形动・副】 很, 非常
鬼が島 (おにがしま)	【名】 神话中的鬼岛
征伐 (せいばつ)	【名・他サ】 征伐, 征讨
黍団子 (きびだんご)	【名】 黍子面团子
作る (こしらえる)	【他下一】 做, 制造
お出でになる (おいでになる)	【连】 去, 来 (出る、来る行く的尊敬语)
お腰 (御こし)	【名】 围腰子, 缠腰布
お供 (おとも)	【名・自サ】 陪同, 入伙
雉 (きじ)	【名】 野鸡
突つつく (つつく)	【他五】 (俗) 捅, 戳, 啄
噛み付く (かみつく)	【自五】 咬, 咬住不放
降参 (こうさん)	【名・自サ】 投降, 降伏, 折服
宝物 (たからもの)	【名】 财宝
どっさり	【副】 很多, 好些
無事 (ぶじ)	【名・形动】 平安, 太平无事

解説

1、そこで

前项多为某种事实、状况, 后项是针对前项而产生的积极行为或顺理成章的自然结果。

○電話のベルが鳴った。そこで、慌ててお風呂から飛び出して、受話器をとった。

○大雪で飛行機が飛べなくなった。そこで、仕方なく出発を遅らせた。

2、日本一

意为“在日本数第一的……, 最……”。

○彼女は日本一の美人だと言われている。

○富士山は日本一の高山だ。

3、とても～ない

后接否定或否定意义的表现形式, 表示毫无可能性, 略带贬义。

○私には捨て犬などとてもできそうもない。

○別れてくれなんて彼にはとても言えません。

練習題 (一)

1、文中の「に」の使い方を、分かりやすい日本語で説明してください。

- ①むかしむかし、ある所におじいさんとおばあさんがありました。
- ②ある日、おじいさんは柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。
- ③おばあさんが桃を切ろうとしますと、桃が二つに割れて、中から大きな男の子が生まれました。
- ④喜んで、その子に桃太郎という名をつけて大事に育てました。

2、文中から、次の言葉の反対語を書きぬいてください。

- ①安心 () ②入り口 ()
- ③閉める () ④主君 ()

3、次は犬と桃太郎との対話ですが、これを読んで、犬と桃太郎の置かれた立場について考えてください。

犬「桃太郎さん、桃太郎さん、あなたはどこへおいでになりますか。」

桃太郎「鬼が島へ征伐に。」

犬「お腰の物は何ですか。」

桃太郎「日本一のきび団子。」

犬「一つください、お供をします。」

桃太郎「そんならやるからついておいで。」

練習題 (二)

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

食事の時や休憩の時日本ではよくお茶を飲みますが、日本ではいつ頃からお茶を飲み始めたのでしょうか。今から 800 年くらい前からだそう。始めはお茶は中国から輸入していました。昔は大変珍しくてとても高いものでした。それで薬としてしか飲みませんでした。日本に始めてお茶の木を植えたのは 700 年くらい前です。京都の近くの宇治というところです。それからだんだんお茶をたくさん取れるようになって値段も安くなり、多くの人が飲み始めました。

1、日本ではどんな時にお茶を飲みますか。

- A. ご飯を食べている時や休憩の時などに飲みます
- B. 薬を飲む時に飲みます
- C. お茶を飲むようになったのは最近です
- D. 暑い時によくお茶を飲みます

2、いつ頃からお茶を飲むようになったのですか。

- A. 16 世紀の終わり頃から
- B. 1200 年ぐらいから

- C. 800 年ぐらい前から
 - D. 700 年ぐらい前から
- 3、最初から日本にお茶がありましたか。
- A. 京都の近くの宇治にありました
 - B. 700 年ぐらい前に始めて植えました
 - C. ありましたがとても高かったです
 - D. 最初は中国から輸入していました
- 4、最初はどうのようにしてお茶を飲んでいましたか。
- A. 一般の人は飲みませんでした
 - B. 高いので誰も飲みませんでした
 - C. 薬として飲んでいました
 - D. 珍しいと思って飲んでいました
- 5、何時から日本でお茶の木を植えるようになりましたか。
- A. 16 世紀の終わり頃
 - B. 1300 年ぐらい前
 - C. 1200 年ぐらい前
 - D. 700 年ぐらい前

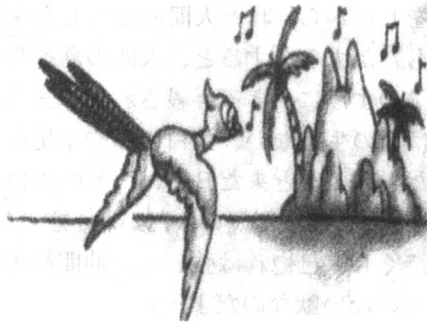
重 知 識

漫 画

日本では漫画は大衆文化の 1 つとなっています。子供向けから少年・少女向け、サラリーマンや OL 向けなど、それぞれの年齢層に合わせた漫画雑誌が数多く発行されており、スーツ姿のサラリーマンが電車内で漫画雑誌を読む光景も珍しくありません。しかし、中には単なる娯楽を超えた作品もあり、最近では経済、歴史などを漫画で分かりやすく解説した本も出版され、好調な売れ行きを見せています。

第2課 桃太郎(続)

第一課とは反対に、次の文章で、「鬼が島」が天然の楽土になりました。



鬼が島が絶海の孤島だった。が、世間の思っているように岩山ばかりだったわけではない。実は椰子の聳えたり、極楽鳥の囀ったりする、美しい天然の楽土だった。こういう楽土に生を受けた鬼は勿論平和を愛していた。いや、鬼というものは元来我々人間よりも享乐的に出

来上がった種族らしい。瘤取りの話に出てくる鬼は一晚中踊りを踊っている。一寸法師の話に出てくる鬼も一身の危険を顧みず、物詣での姫君に見とれていたらしい。なるほど大江山の酒吞童子や羅生門の茨木童子は稀代の悪人のように思われています。しかし茨木童子などは我々の銀座を愛するように朱雀大路を愛するあまり、時々そっと羅生門へ姿を露わしたのではないであろうか。酒吞童子も大江山の岩屋に酒ばかり飲んでいたのは確かである。その女人を奪っていったというのは——真偽はしばらく問わないにしろ、女人自身のいう所に過ぎない。女人自身のいう所をことごとく真実と認めるのは、——私はこの二十年来、こういう疑問を抱いている。あの頼光や四天王はいずれも多少気違いじみた女性崇拜家ではなかったであろうか。

鬼は熱帯的風景の中に琴を弾いたり踊りを踊ったり、古代の詩人の詩を歌ったり、頗る安穩にくらしていた。そのまた鬼の妻や娘も機を織ったり、酒を醸したり、蘭の花束を拵えたり、我々人間の妻や娘と少しも変らずに暮らしていた。殊にもう髪の高い、牙のぬけた鬼の母はいつも孫の守りをしながら、我々人間の恐ろしさを話して聞かせなどしていたものである。——「お前たちもいたずらをすると、人間の島へやってしまうよ。人間の島へやられた鬼はあの昔の酒吞童子のように、きっと殺されてしまうのだからね。え、人間というものかい。人間というものは角の生えない、生白い顔や手足をした、何ともいわず気味の悪いものだよ。おまけにまた人間の女と来た日には、その生白い顔や手足へ一面に鉛の粉をなすっているのだよ。それだけならばまだ好いのだがね。男でも女でも同じように、うそはいうし、欲は深いし、焼餅は焼くし、己惚れは強いし、仲間同士殺しあうし、火は付けるし、泥棒はするし、手の付けようのない獣なのだよ…」。

桃太郎はこういう罪のない鬼に建国以来の恐ろしさを与えた。鬼は金棒を忘れたなり、「人間が来たぞ」と叫びながら、亭々と聳えた椰子の間を右往左往に逃げ惑った。

進め！進め！鬼という鬼は見つけ次第、一匹も残らず殺してしまえ！

(北京大学出版社「日語通 2003 第 2 輯」による)

単語

絶海（ぜっかい）

【名】远海

孤島（ことう）

【名】孤岛

岩山（いわやま）

【名】石山

椰子（やし）

【名】椰子

聳える（そびえる）

【自下一】耸立

極楽鳥（ごくらくちょう）

【名】极乐鸟

囀る（さえずる）

【自五】鸣啭

楽土（らくど）

【名】乐土

生を受ける（せいをうける）

【连】生活

享乐的（きょうらくてき）

【形动】享乐的

種族（しゅぞく）

【名】种族

顧みる（かえりみる）

【他下一】挂念

物詣で（ものもうで）

【名】参拜（神社，寺院）

姫君（ひめぎみ）

【名】贵族小姐，公主

見とれる (みとれる)	【自下一】看得着迷
大江山 (おおえやま)	【名】大江山 (剧目名)
酒吞童子 (しゅてんどうじ)	【名】酒吞童子
羅生門 (らしょうもん)	【名】观世小次郎信光所作能的剧目名
茨木童子 (いばらぎどうじ)	【名】茨木童子
稀代 (きだい)	【名】绝代
朱雀大路 (すざくおおじ)	【名】朱雀大街
そっと	【副】偷偷地
奪う (うばう)	【他五】夺取
真偽 (しんぎ)	【名】真伪
ことごとく	【副】所有, 全部
頼光 (らいこう)	【名】源赖光
四天王 (してんのう)	【名】四天王
じみる	【造语・上一型】看起来像, 仿佛
崇拜家 (すうはいか)	【名】崇拜者
琴 (こと)	【名】琴
頗る (すこぶる)	【副】非常, 很
安穩 (あんのん)	【副】平安, 安稳
機を織る (はたをおる)	【连】织布
酒を醸す (さけをかもす)	【连】酿酒
蘭 (らん)	【名】兰花
拵える (こしらえる)	【他下一】打扮
殊に (ことに)	【副】尤其
牙 (きば)	【名】牙
生白い (なまじろい)	【形】苍白的
おまけに	【接】而且
鉛 (なまり)	【名】铅
なする (擦る)	【他五】涂, 抹
焼餅を焼く (やきもちをやく)	【连】吃醋
己惚れが強い (おのぼれがつよい)	【连】自命不凡
火を付ける (ひをつける)	【连】点火, 放火
手の付けようのない (てのつけようのない)	【连】无可救药
亭々と (ていていと)	【副】树木高大貌
右往左往 (うおうさおう)	【名・自サ・连】很多人东奔西跑
逃げ惑う (にげまどう)	【自五】乱窜

解説

1、なんとも～ない

常用于「いえない」「わからない」等表达, 表示不知如何说, 不可理解等意。

○彼女の言っていることはなんとも分かりかねる。

○結果がどうなるかはまだなんとも言えませんね。

2、～たなり

相当于「したまま」。

○すわったなり動こうともしない。

○立ったなりでじっとこちらの様子を伺っている。

3、次第

「したらすぐに」的意思，表示前项动作实现后马上进行后项动作。前接动词的连用形。

○資料が手に入り次第、すぐに公表するつもりだ。

○落とし物が見付かり次第、お知らせします。

練習題(一)

1、次の「らしい」の使い方を説明してください。

①男らしい男ってどんな人のことですか。

②弱音を吐くなんて君らしくないね。

③彼はいかにも芸術家らしく奇抜なかつこうで現れた。

④みんなの噂では、あの人は国では翻訳家としてかなり有名らしい。

2、次の言葉を選んで、文の（ ）に入れなさい。

しばらく ことごとく いずれも ことに おまけに

①昨日のレースの馬券は（ ）外れた。

②彼はハンサムで頭がよく（ ）大金持ちだ。

③皇太子妃の候補は（ ）名門の子女ばかりだ。

④彼は数学少年だが、（ ）微積は得意中の得意だ。

⑤名前をお呼びするまで（ ）お待ちください。

3、終助詞の意味を味わいながら、次の文をよく読んでください。

①A：いま、お時間、よろしいでしょうか。

B：はい、あいてるわよ。何かあるの。

②A：課長、この企画書の書き直せとのことですが、どこが問題なんでしょうか。

B：販売対象をもっと絞り込んだ方がいいね。

③A：お母さん、ソフトクリーム食べてもいいだろ。

B：いいよ！もう食後だから。

④A：思っていることをかまわずに言ってください。

B：そうですね。

A：かまいませんよ。

4、次の文型で文を作ってみてください。

①～にすぎない

②～にもしろ

- ③ではないであろうか
- ④わけではない

5、討論テーマ

- ①本文の「鬼が島」はどんなところですか。自分の言葉でいってください。
- ②作者は、どうして「鬼が島」を天然の楽土にし、人間の世界を怖い世界にしたのですか。自分の理解にしたがって答えてください。
- ③昔話の「桃太郎」と上の文章と、どっちが好きですか。なぜですか。
- ④もし、あなたが「続桃太郎」と書いたら、どのように書くでしょうか。

練習題（二）

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は18歳の女子高校生です。来年、大学に行きたいと思っています。

私の趣味は写真をとることです。私の住んでいる町は山の中にあつてきれいな湖があります。学校が休みのときはいつも山や湖に行つて、写真をとっています。去年の夏休みには友達と一緒に京都へ行きました。京都には有名なお寺や古い建物がたくさんあります。わたしが一番きれいだと思ったのは「桂離宮」です。そこでしゃしんをたくさんとりました。

学校の勉強は歴史が好きです。大学では歴史の勉強をしようと思っています。歴史で勉強した場所を旅行して写真をたくさん取るのが夢です。

わたしはこんな女の子です。同じ趣味の人、私と友達になつてください。下の住所に手紙をください。同じぐらいに年齢の人がいいです。よろしくお願いします。

1、この人はなぜこの文章を書きましたか。A・B・C・Dの中から一番いいものをひとつ選びなさい。

- A. 大学に行きたいから
- B. 旅行がしたいから
- C. 友達をつくりたいから
- D. 写真がとりたいから

2、この人はどんな人ですか。A・B・C・Dの中から一番いいものをひとつ選びなさい。

- A. 歴史の勉強をしている人
- B. 大学に行っている人
- C. よく写真をとっている人
- D. 友達がたくさんいる人

3、この人はどんなところに住んでいますか。A・B・C・Dの中から一番いいものをひとつ選びなさい。

- A. いなか
- B. 山の中
- C. 有名な町
- D. 都会

重 知 識

パチンコ

1920年ごろにアメリカから伝わったコリント・ゲームを改良したものといわれています。多くの人の娯楽となっていますが、18歳未満の人は行うことができません。鋼鉄製の玉をばねではじいて、盤面にあるいくつかの穴に入れると、10個以上の玉が出てくるしくみです。昔は手動で玉をはじいていましたが、今は電動式になりました。獲得した玉は、タバコやお菓子など、さまざまな賞品と交換できます。